

# 「なかよしの歌をつくろう」

—解放子ども会に学ぶ創作活動を通して—

○自己表現 ○技能 ○共生（連帯）

小学校3～4年

## 1 題材設定の趣旨

学級や学年でつくる歌や人権劇、仲良しかるたや巨大ポスター作り等、解放子ども会でも大切にされている創作活動を中心にすえた活動である。部落差別をはじめ、身のまわりでも起こりがちないじめや差別に気づき、それらを自分のこととしてとらえ、共に解決していこうとする態度と実践力を育てる。また、解放子ども会の友だちも同じ学習をしていることを知り、感想などを交換しながら互いに意識を高め合う。全校児童や保護者、地域の人々の前で自分たちの学習の成果を発表することによって、子どもたち自身が差別をなくす主体者となることができるようにする。

## 2 学習のねらい

- ・日常生活の中にあるつらいことや悲しいことを語り合うことによって、自分の生活を見直すことができる。
- ・「なかよしの歌」づくりの話し合いの中で、自分たちの願いを出し合い、歌詞に表すことができる。
- ・解放子ども会の活動と自分たちの活動との共通点を知り、共にいじめや差別をなくす取組をしているという意識を持つことができる。
- ・自作の歌を歌うことによって、全校の友だちや先生、保護者、地域の人々に自分たちの願いを知らせることができる。

## 3 指導計画

月	時間	学習内容	活動内容（人権の視点）
4	3	自分の生活をつづろ	・日常生活の中にあるつらい事や悲しい事を、詳しく思い出して書こう。（気付き）
6	3	自分を語ろう	・友だちの書いた生活作文を読み合い、それぞれが抱えている苦しさや、それに立ち向い、努力している姿について考え、話し合おう。（相互理解）
みんなで話そう、みんなで聞こう。			
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>Tさんの話</p> <p>3年のときに友だちと帰っていったら、男の子が『ちび』って言ってきて、</p> <p>・・・すぐ言って帰っちゃって・・・</p> <p>（私は）『ちび』じゃない。</p> <p>家に帰ったら、おばあちゃんがいて、その事を話したら、</p> <p>「そんなの言い返したらいい。」って言われて、それまで悲しかったけど、悲しい気持ちはなくなった。</p> </div>			

9	12	「なかよしの歌」をつ くろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・悲しい思いをした友だちをこのままにしないた めに、自分たちができることを話し合おう。 (技能育成)</li> <li>・学年の代表として全校「人権フェスティバル」 に参加し、自分たちの思いを伝えよう。</li> </ul>
		自分たちの気持ちを忘れないように、歌にしよう。	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌のテーマを話し合おう。</li> <li>・一人ひとりが詩を書こう。</li> <li>・一人ひとりが書いた詩を読み合い、歌詞に入れ たい言葉を短冊に書き、似たような言葉を選ん だ人たちとさらに深め合おう。</li> <li>・悲しかった事を書いた友だちの気持ちを知ろう。</li> <li>・できた歌詞の中から自分が共感できる言葉を選 ぼう。</li> <li>・解放子ども会の先生に相談し、自分たちのつくっ た歌詞に曲をつけてもらおう。</li> </ul>
11	5	「なかよしの歌」を発 表しよう	
		自分たちの思いを全校の友だちや保護者、地域の方々に伝えるために、 「人権フェスティバル」で発表をしよう。	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権フェスティバルでの発表の形式を決めよう。</li> <li>・間奏の部分で、自分たちの思いを呼びかけにしよう。</li> <li>・歌の意味をかみしめながら、発表の練習をしよう。 (自己表現) (技能育成)</li> </ul>
12	2	「なかよしの歌」に題 名をつけよう ※資料P54参照	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの自分たちの活動をふり返りながら、 歌に題名をつけよう。</li> </ul>
		みんなで話そうーみんなの笑顔が宝物ー	
1	2	これまでの学習をふ り返って、まとめを しよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌を聴いて下さった方からの感想をまとめよう。</li> <li>・同じ活動をしている解放子ども会のことや、子ども 会の人たちがつくった歌を知り、これからの自分の あり方について考えよう。(共生・連帯意識の育成)</li> </ul>

#### 4 具体的な活動内容（実践事例） 【第18時】

A 題材名「なかよしの歌をつくろう」

B ねらい

- ・「いじめや差別をなくしたい」という自分たちの願いを出し、話し合うことを通して、自分たちのこれまでの生活をふり返り、悲しい気持ちをした人の思いに共感できる。

C 指導上の留意点

- ・悲しい思いをした子どもの作文発表については、事前に本人や保護者の承諾を得ておく。

D 実践記録

	児童の活動	指導・支援
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>選ばれた言葉の中で、気になる言葉を出し、その意味を聞く。 「ぼくにつばをかけないで」 「ぼくからにげないで」 「かなしいことがいっぱいあった」 「悪口を言わないで」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの言葉を書いた子どもに、その意味や気持ちについて話してもらい、それについて聞いていた子どもの考えも発表させる。</li> </ul>
30	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ちびで何がいけないのかなあ」というTさんが書いた言葉について、Tさんの発表をもとに詳しく考え合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発表した子どもに共感的な考えを出させ、「発表して良かった」という気持ちを持たせたい。</li> <li>全員にTさんの話を聞いての感想を書かせ、発表させる。</li> <li>全員の発表を聞いた後、Tさんの感想を発表させる。</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>話し合ったことをもとに、歌詞をつくっていくことを確認し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今日のように「話し合って解決していく」ということをテーマにして、みんなが出し合った言葉をまとめて歌詞にしていくことを確認する。</li> </ul>

【最終時】

A 題材名「なかよしの歌をつくろう」


B ねらい

- 「人権フェスティバル」で自分たちの願いを歌にして発表できた子どもたちが、歌を聴いたみなさんの共感や励ましの声を聞いたり、解放子ども会のみなさんがつくった歌を知り、それに込められた願いを考えることによって、自分たちも歌を広げ、これからもいじめや差別をなくすための活動を続けていこうという気持ちをもつことができる。

C 指導上の留意点

- 「佐久、ふるさとを愛せるように」が、解放子ども会のみなさんがつくったものであることをはっきり知らせ、自分たちと解放子ども会が同じ願いを持っていることを確認する。

D 実践記録

	児童の活動	指導・支援
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>「人権フェスティバル」で歌を聴いた人たちの感想を聞く。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>「人権フェスティバルでみんなの歌を聴いて下さった方々の感想を聞きましょう。」</li> <li>保護者の感想を教師が読む。</li> <li>同じようにフェスティバルに参加した仲間たちの感想を聞かせる。</li> <li>元解放子ども会の先生の感想とお話</li> </ul>

		<p>を聞かせる。 「みんなのつくった歌は、先生にとっても大事な宝物になりました。実は先生にはもう一つ宝物があるんです。」</p>
15	<p>・解放子ども会のみなさんがつくった歌を知り、聴いた感想を発表し合う。</p> <p>「この歌を聴いて、優しい気持ちになるし、美しい故郷にしようという願いが伝わってくる歌。」</p> <p>「佐久でもいじめや差別があったり、手と手をつなぎ合ってなくしていこうという気持ちがわかった。」</p> <p>「ぼくたちといじめや差別をなくしていこうという願いが同じで、とてもいい曲だと思った。」</p> <p>「差別に悲しむ人が・・・悲しいことが」 「手と手を取り合って、心をつなぎ合って・・・ひとりで悩まないで、みんなで」</p> <p>「進んでいこう・・・なくしていこうよ」 「話そう・・・聞こう」</p>	<p>・「私は佐久の解放子ども会の先生でした。これは、その時の宝物です。」</p> <p>・解放子ども会のみなさんがつくった歌を聴かせる。 (資料 佐久、ふるさとを愛せるように) ※資料P54参照</p> <p>・歌詞カードを渡し、歌詞の内容がよくわかるようにする。</p> <p>・「歌を聴いてどう思いましたか。」</p> <p>・「歌を聴いて気づいたことはありますか。」</p> <p>・「私たちの歌の歌詞と、どこが似ていますか。」</p> <p>・子どもたちの発言の中に、「自分たちの歌を作った願いと同じだ。」というものが出たら、歌詞のどこからそう思ったか聞く。</p> <p>・「こうしてみると、同じところがいっぱいありましたね。」</p>
	<p>・佐久の解放子ども会のみなさんがつくった歌は、どういう願いからつくられたものか考える。</p> <p>「差別をなくすためにつくった。」 「差別のために悲しい思いや苦しい思いをしている人をなくすためにつくった。」</p> <p>「ちがう場所でも私たちと同じ願いで歌をつくっていた人がいるんだなあ。」</p>	<p>・この歌をつくった人はどういう願いがあったのか考えさせる。</p> <p>・自分たちの願いをふり返らせ、その共通点について話し合わせる。</p> <p>・共通点は3つの観点でまとめていく。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>①悲しいことがあっても ②みんなで考える場をつくって ③みんなでなくしていこうと歌にして呼びかけている</p> </div>

15	<p>・歌を知っての感想と、これから自分は差別をなくすために、どんなことができるか考えて作文に書く。</p> <p>「こんなに誉めてもらえるなんて、うれしい。」  「ぼくたちの願いがちゃんと伝わってよかった。」  「解放子ども会の人たちがつくった歌は、ぼくたちの願いと同じだった。真剣にいじめや差別をなくそうとしている気持ちが伝わってきて、とてもうれしく思った。」  「ぼくたちのようにいじめや差別をなくそうとしている人たちがいて、いろんな人と友だちになれたなあと思って、とてもうれしかった。」  「学年や全校のみんなに、自分たちの歌を覚えてもらいたい。」  「CDにして、町の方々に聴いてもらいたい。」  「歌をつくったことを大人になっても忘れないで、いじめや差別をなくしていきたい。」</p>	<p>・「今日の授業を通して、みんなが思ったことを書いてみましょう。」  ・ワークシートを配る。</p> <p>☆ワークシートの内容</p> <p>①「人権フェスティバル」で歌を聴いたみなさんの感想を聞いたり、解放子ども会の方々がつくった歌を聴いて思ったこと。</p> <p>②これから差別をなくすためにやりたいこと。</p>
5	<p>・願いを込めて歌う。</p>	<p>・「今日勉強したことを思い出して、心を込めて歌いましょう。」</p>

## 5 評価

- ・「気づく」「わかる」「する・できる」という中学年の人権教育の目標に向けて、創作活動を中核として展開できていた。
- ・自分たちがつくった歌を発表する子どもたちの歌声や表情からそれぞれの心に響き、伝わってくるものが何であるのか。それがこの活動に対するはっきりとした評価となる。
- ・また、歌づくりのプロセスの中で見せた子どもたち一人ひとりの輝きを教師たちがつかみ、しっかりと個々に返してあげることが重要であり、それが子どもたちの今後の生活を支えていく力となるのではないだろうか。
- ・子どもたちはこの歌を学年に広げ、その後も長く、大事に歌い続けた。

## 〈「人権フェスティバル」で子どもたちの歌声を聞いた保護者の感想〉

覚えやすい曲で、中身のある、自分の気持ちが優しくなる曲でした。「みんなに話そう、みんなで話そう、少しずつ、少しずつ」のところがとてもよかったです。心にじんときるような歌でした。

みんなで考えてつくった歌だなんて、びっくりしました。元気が出るようでとてもよかったです。歌をつくることから、クラスのみんなで話し合っただ大変だったとのこと。歌詞を見て、歌を聴いて、とても感動しました。

世界でたった一つしかない君たちの歌です。「人権フェスティバル」の時にもそういう思いがうんと伝わってきてよかったなあと思います。自分たちが取り組んできたことに自信を持って、この歌を歌ってほしいなあと思います。

## 6 成果と課題

### 【成果】

- ・自分自身に関わりのある悩み等を見つめさせる土台をつくることができた。
- ・自分が差別されていることや、自分の身の回りにある差別に気づくことができた。
- ・子どもたちが自ら活動に参加できる場をつくることができた。
- ・差別をなくすために、自分たちでつくり上げていく活動に取り組み、個々の願いを具体化していくことができた。
- ・解放子ども会がたくましく活動していることを知り、自分にふりかかる差別とどう立ち向かえばよいのかを考えることができた。
- ・自分たちの生活を振り返りながら、自分たちの願いを込めた歌をつくり、発表できたことで、大きな満足感と、保護者や地域の人々との連帯感を持てたのではないかな。
- ・まとめの感想に、「まず、私自身が差別をしない」「いじめている人がいたら、注意していきたい」「大人になってもいじめや差別をなくしていきたい」という事を多くの子どもが書いていたことから、これからの自分のあり方を深く考える事ができたのではないかなと思われる。
- ・授業の最後に歌を歌ったとき、子どもたちがとても自信をもって歌っていたように感じられた。これは、解放子ども会の友だちが、自分たちと同じ願いをもっていたという事に共感し、自分たちも歌を広げていこうという意欲の表れではないかな。
- ・願いが同じということによく気づいていたのは、自分たちの歌詞への願いの込められ方の強さの表れだろう。

### 【課題】

- ・さらに、子どもの姿と思いを大切にしながら、今後の活動につなげていけると良い。学年の他のクラスや解放子ども会員、保護者や地域の人々と共に差別をなくすための活動をつくっていくなど、仲間の輪を広げていくことも考えられる。
- ・創作活動には時数がかかるので、総合的な学習の時間の中にどう位置づけていくか、学校や学年、学級の実態に応じて考えていきたい。